

研究課題：軟骨無形成症の矢状面バランスの変化

1. 研究の目的

軟骨無形成症は四肢短縮型低身長を呈する骨系統疾患の代表で2万出生に一人の割合で生じます。成長に伴う四肢短縮以外にも胸腰椎移行部の後弯、骨盤の前傾など矢状面バランスの不良を認めますが、長期の矢状面バランスの経過はわかっていません。本研究の目的は、軟骨無形成症の矢状面バランスを検討することです。

2. 研究の方法

1993年1月1日から2023年4月30日までに当院を受診した軟骨無形成症の患者様のうち脊椎の側面レントゲン検査が施行された患者様が対象となります。

3. 研究期間

2023年5月(倫理委員会で承認を得られた日)から2027年1月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、身長、手術歴、成長ホルモンや遺伝子検査の結果といった臨床情報と画像所見などの情報を調べまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：整形外科 科長 平良勝章
研究分担者：整形外科 医長 町田真理

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲

内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2023年
8月31日にまで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様不利益が
生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）